

鍋ヶ滝公園の営業について

現在コロナウイルス感染拡大により、不定期営業を実施しご利用の皆様には大変ご迷惑をおかけしています鍋ヶ滝公園ですが、閉園のあり方につきましてたくさんの方々からご意見等をいただいております。

その中からご意見、ご質問の多かった内容につきましてご説明をさせていただき、ご理解とご協力をお願いしたいと思っています。

【鍋ヶ滝公園は自然の中にあり、三密の状態ではないのに、なぜ閉園するのでしょうか】

ご指摘のとおり、鍋ヶ滝公園自体は自然公園であり特に来客者の多くなる夏場や大型連休を除いては三密の状況が生じるようなことはございませんが、公園までの道路が渋滞し、周辺住民の方々へご迷惑をおかけするため止む無く閉園させていただきました。

【駐車場を整備し、渋滞させないようにしたのではないのですか】

確かに渋滞緩和のために第3駐車場を整備し全体で123台の駐車が可能となりましたが、ピーク時には1日4千人近くの方が来場し車両台数にして約2,000台と全く足りないのが現状です。

また、坂本善三美術館から旧蓬萊小学校までの区間は極端に道幅が狭く、普通車同士でも離合が困難であり、駐車場に入りきれない車両が渋滞した場合、沿線の住民は生活のための移動もできない状態となります。(過去に国道387号線石尾トンネル付近まで車の行列が生じた年がありました。)

このため、町では過去の実績から月ごとの来場者数を分析し、渋滞が発生すると予想される期間はシャトルバスを運行することでトラブルが起きないように対策をとってきました。

しかし、シャトルバスは、

- ① 車内で三密の状態となる。
- ② 到着後チケット販売に行列ができる。
- ③ 帰りのバスも乗車に行列ができる。

ことなどから運行を断念。他に解決できる方法が無いため閉園措置を取らせていただいた次第です。

【今後もコロナが続けば、鍋ヶ滝は開園することはできないのでしょうか】

町としましても、折角遠方より楽しみに来られたお客様が、鍋ヶ滝が見学できず寂しい思いをして帰っていただくことについては申し訳なく思っています。

今後の対策として、渋滞緩和の対策と同時に、観光客がコロナ禍でも安心して楽しみながら見学ができる予約システムの導入を進めおり、来年4月の運用を目指しています。また、完成時期は未定ですが、道幅の狭い区間を通行しなくても鍋ヶ滝公園へ行けるようバイパス道の検討も進めています。

鍋ヶ滝公園の見学を楽しみにされている皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、一日も早い開園を目指し、努力してまいりますので、もうしばらくの間現在の運用につきまして、ご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。